


水辺の小さな自然再生 事例データベース

事例番号	1HK07	地域	北海道	記入年月	2025年3月
------	-------	----	-----	------	---------

事例名称	単調な直線区間でのバープ工によるサケの自然産卵床づくり(1)									
位置情報	都道府県名	北海道	市町村名	標津町	緯度経度	43.692692, 145.090888	水系名	ポー川	河川名	伊茶仁川
取組概要	サケの自然産卵による漁業資源の増加を目的に、均一な浅い瀬が直線的に続く区間において、地元の若手漁業者を中心とする協議会メンバーにより産卵環境を改善するためのバープ工を複数基設置した。バープ工設置後に連続する瀬淵が形成され、産卵床の増加が確認された。									
再生目的	生物環境	対象種	サケ							
	物理環境	連続性回復	魚道（縦断）	-	魚道（横断）	-				
		生息・生育・繁殖場造成	瀬淵	○	ワンド・たまり	-				
			二次流路	-	水際植生	-				
			攪乱	-	空隙	-				
その他	-									
開始年	2018	工法	バープ工（樹脂ネット、木杭）							
実施体制	実施主体	標津町サケマス自然産卵調査協議会								
	連携者	標津サーモン科学館、標津漁業協同組合、根室管内さけ・ます増殖事業協会、標津町水産課、北海道技術コンサルタント								
効果	産卵床が0～3箇所（2016～2021年）であったが、バープ工設置後に53箇所（2022年）に増加									
関連資料URL	旧カルテ	-								
	事例集記事	-								
	現地研修会報告書	-								
参考情報URL	https://www.ecesj.com/contents/event/conference/26th/26th-Proceedings.pdf									

本表は、公開情報及び関係者ヒアリングに基づき作成したものです。誤った情報、修正・更新を要する情報、新たに追加したい事例等がございましたら、（公財）リバーフロント研究所・リバロサポートセンターまでお知らせください。 Email: supportcenter@rfc.or.jp